子育て・就労世代の医療・ヘルスケアに関する意識調査

日本遠隔医療学会・皮膚科遠隔医療分科会

調査実施の背景

■ 背景：

昨今、オンライン診療への関心が高まりつつある。現在皮膚科疾患は診療報酬算定は困難である。一方で皮膚科疾患は、患者自身が視覚的に疾患を認識ができ、自覚症状があることが多い。また、皮膚科疾患は就労者・子育て層の有病率も高いことから、オンライン診療のニーズが患者サイドから高まる可能性がある。

上記を踏まえ、今後皮膚科におけるオンライン診療の活用範囲について、医療者が医学的な見地を以て、有用性・安全性の双方から検討していくに際し、患者ニーズを把握することが寛容であると考えた。就労・子育て世代の患者の社会的ニーズを把握すべく、皮膚科疾患罹患者に限ることなく意識調査を行った。

■ 調査企画・監修：東京大学大学院医学系研究科 皮膚科学 講師 ・ 吉崎 歩

* COIに関する申告事項：申告事項無し

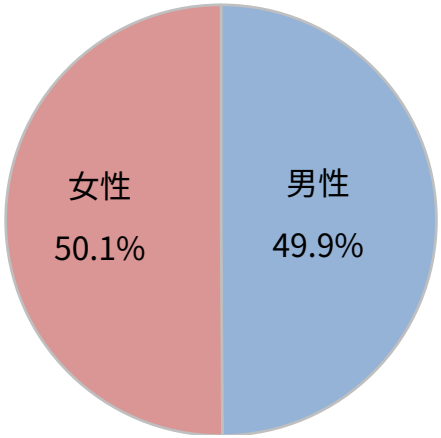
■ 調査実施者：マクロミルケアネット、MICIN

* 調査の公平性・妥当性に関する審査：マクロミルケアネット社にて実施済

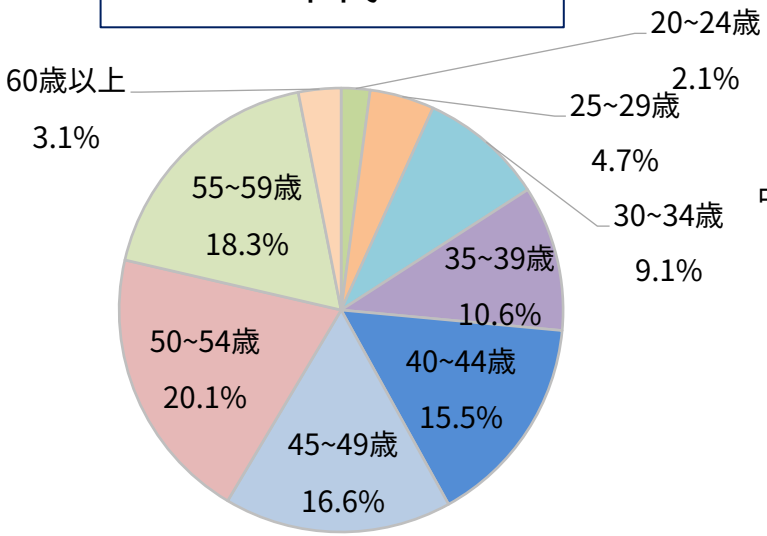
調査概要

- 調査手法：Web調査（マクロミルケアネットを利用）
  *特定の医療機関に通院している患者ではなく、マクロミルケアネットに登録したモニターへのアンケート
- 調査期間：2019年9月26日～27日
- 対象者：マクロミルケアネットのモニターである全国の20歳～65歳の男女で、P3に示す30の疾患に、健診等で指摘を受けたか、現在外来通院しているか、1年以内に外来通院した者
- 有効回答数：1545人
- 回答者内訳

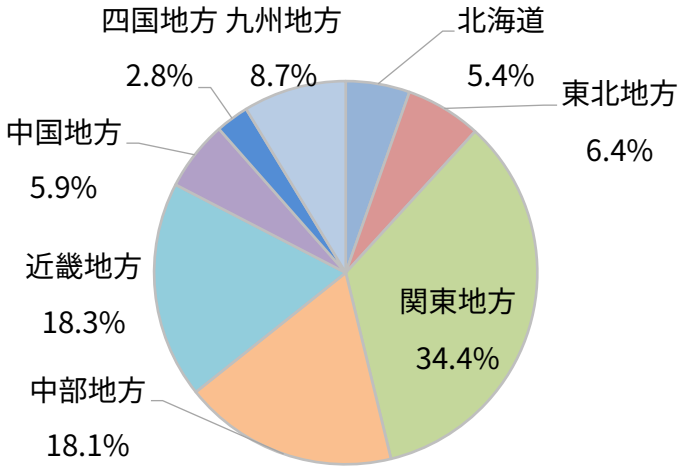
性別



年代



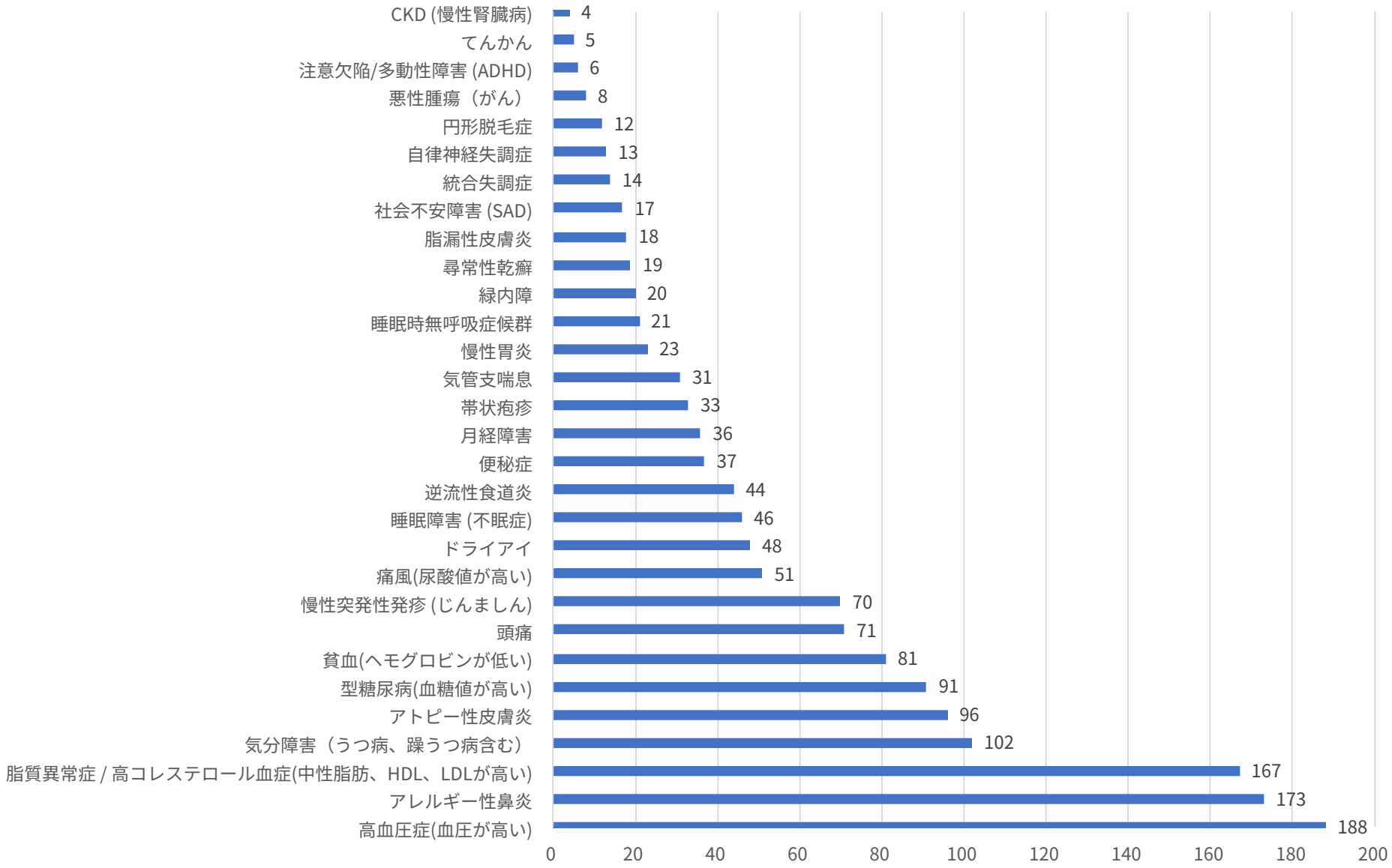
地域



対象者の疾患罹患状況

SQ2	下記に挙げた疾病について、現在あなたご自身の状況（状態）に最も当てはまる内容をお知らせください。	1 検診などで、指摘／疑いを受けたが医療機関を受診していない	2 現在、医療機関を受診し、通院での治療をしている	3 現在、医療機関を受診し、入院での治療をしている	4 1年以内に医療機関を受診し、治療をしていた	5 1年より前に医療機関を受診し、治療をしていた	6 この病気は、自分には関係ない／（上記にあてはまるものはない）
1	高血圧症(血圧が高い)	10.0	12.4	0.3	0.7	1.6	75.1
2	脂質異常症 / 高コレステロール血症(中性脂肪、HDL、LDLが高い)	17.8	8.1	0.3	0.5	1.4	71.9
3	痛風(尿酸値が高い)	5.0	4.2	0.2	0.3	1.2	89.2
4	型糖尿病(血糖値が高い)	3.0	5.7	0.1	0.2	0.3	90.7
5	アレルギー性鼻炎	12.6	4.3	0.1	8.1	12.2	62.7
6	アトピー性皮膚炎	1.7	5.1	0.1	2.0	6.9	84.2
7	慢性突発性発疹 (じんましん)	1.6	2.8	0.2	2.7	7.8	84.9
8	帯状疱疹	0.8	0.3	0.0	2.2	9.3	87.4
9	脂漏性皮膚炎	0.8	1.6	0.1	0.6	1.6	95.2
10	尋常性乾癬	0.8	1.2	0.0	0.3	0.7	97.0
11	円形脱毛症	1.3	0.7	0.2	0.4	2.4	95.0
12	睡眠時無呼吸症候群	5.1	1.0	0.1	0.3	1.5	92.0
13	気管支喘息	1.5	2.1	0.3	1.9	6.9	87.4
14	慢性胃炎	3.6	1.4	0.3	0.8	3.4	90.4
15	便秘症	6.4	2.3	0.1	1.0	3.1	87.1
16	逆流性食道炎	6.3	1.9	0.0	2.7	4.1	85.0
17	気分障害（うつ病、躁うつ病含む）	2.4	7.7	0.3	0.5	6.0	83.0
18	統合失調症	0.8	1.3	0.1	0.0	0.8	97.0
19	自律神経失調症	2.7	2.0	0.3	0.3	3.8	91.0
20	注意欠陥/多動性障害 (ADHD)	1.1	0.6	0.1	0.2	0.4	97.7
21	社会不安障害 (SAD)	1.0	1.9	0.0	0.2	1.2	95.7
22	睡眠障害 (不眠症)	4.2	7.3	0.2	0.5	2.7	85.1
23	頭痛	10.5	3.1	0.4	3.2	5.9	77.0
24	CKD (慢性腎臓病)	0.8	0.5	0.0	0.3	0.4	98.1
25	貧血(ヘモグロビンが低い)	8.9	1.6	0.1	2.5	6.0	81.0
26	緑内障	1.1	2.5	0.1	0.5	0.5	95.3
27	ドライアイ	7.6	1.9	0.3	2.7	5.8	81.8
28	悪性腫瘍（がん）	0.5	0.7	0.1	0.5	1.5	96.7
29	月経障害	1.8	2.3	0.2	1.2	3.9	90.6
30	てんかん	0.5	0.6	0.0	0.1	0.8	98.1

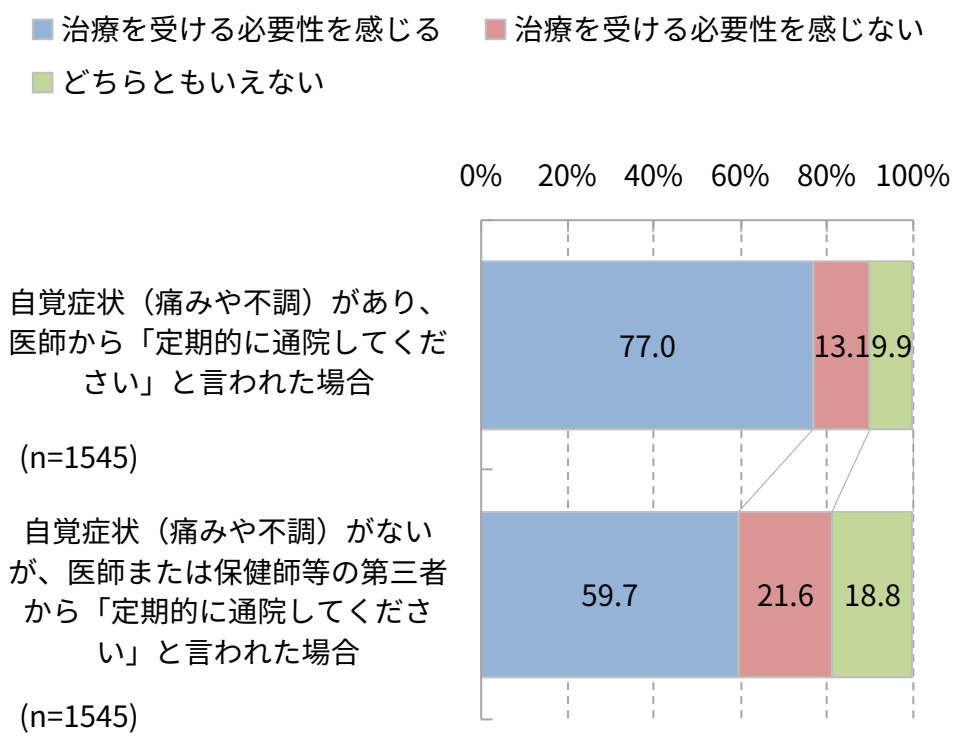
対象者の疾患罹患状況（今回の調査の回答対象となる主病）



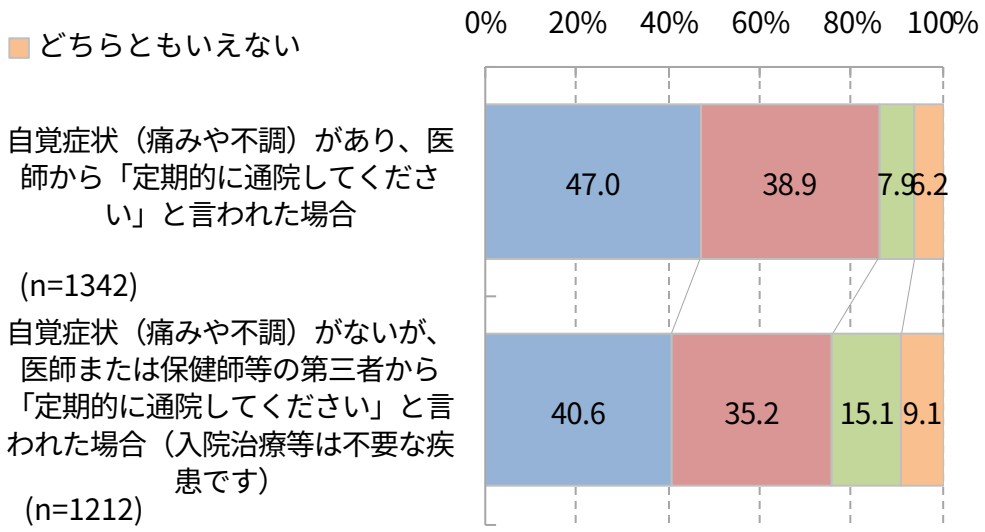
自覚症状の有無と治療意向

自覚症状の有無に関わらず、病気を抱えた際に治療や通院の必要性を感る人が6割以上を占める。

Q1.主に治療をしている(していた)疾患、もしくは最も解決すべき課題だと考える疾患として、「SQ3回答結果再掲」と回答されましたが、次のそれぞれの場合について、あなたのお考えに最も当てはまるものをお選びください。(単一選択)



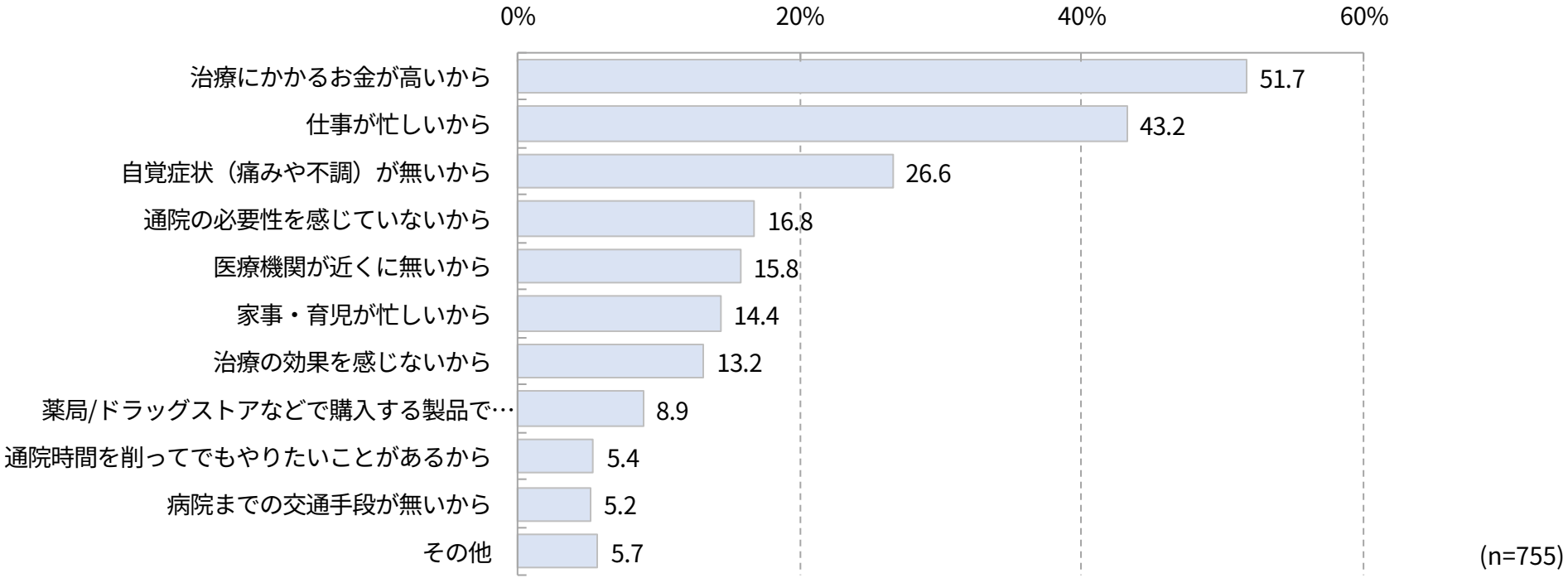
[Q1で治療を受ける必要性を感じない人には非表示]
Q2.主に治療をしている(していた)疾患、もしくは最も解決すべき課題だと考える疾患として、「SQ3回答結果再掲」と回答されましたが、次のそれぞれの場合について、あなたのお考えに最も当てはまるものをお選びください。(単一選択)



月１回の通院継続が難しい理由

・「1ヶ月に1回の通院が難しい／負担があると感じる理由」として、トップに経済的な事由（「治療にかかるお金が高いから」：51.7%）が挙げられており、年収帯が800～1200万円ほどの回答者でもその傾向は大きく変わらなかった。
・「その他」の自由回答としては、待ち時間が長い、通院できる日時に医療機関が開いていない、といった回答が多かった。

[Q2で「１ヶ月に１回の通院であれば、問題なく病院/クリニックに定期通院が継続できると思う」のみ選択した人には非表示]
Q3. １ヶ月に１回の通院が難しい/負担があると感じる理由について、当てはまるものを全てお選びください。
（現在特に持病が無い方も、過去に定期的な通院をされていた際の状況を思い起こしてご回答ください）（複数選択可）

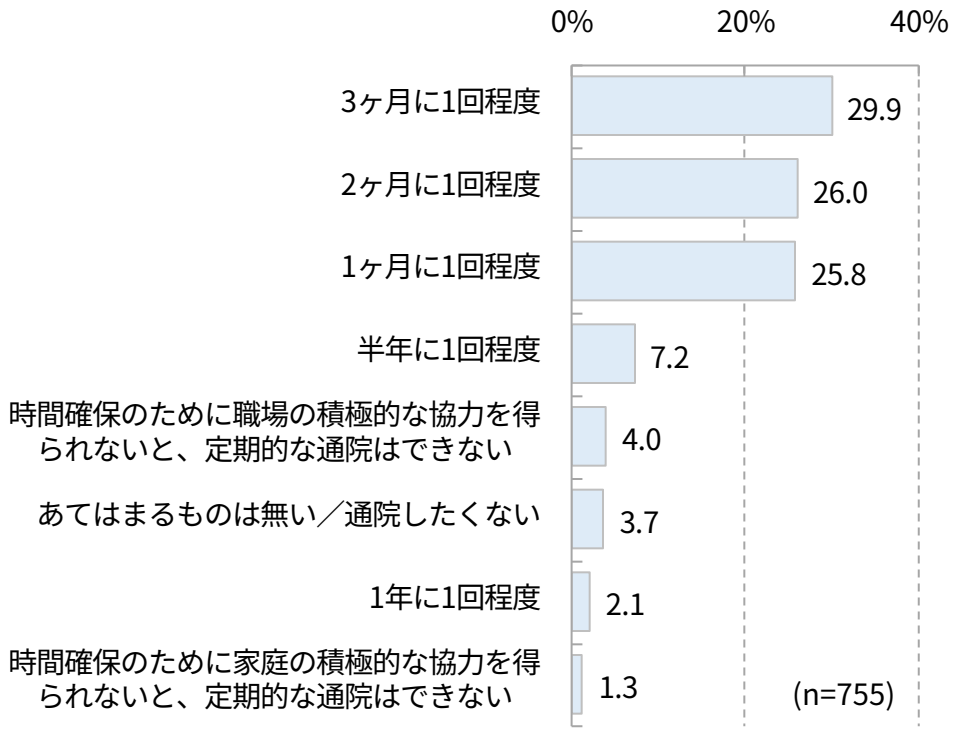


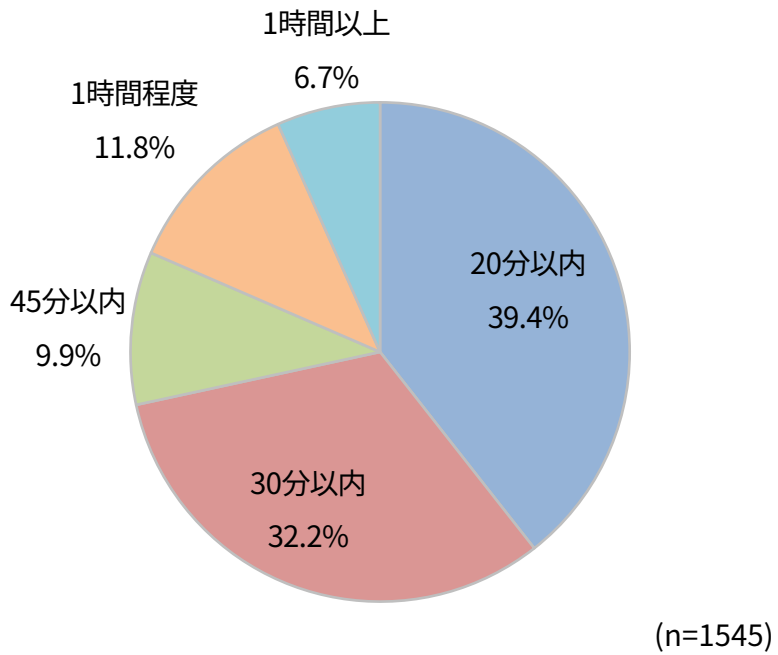
無理なく通院できる頻度と通院に要する時間

- 無理なく通院できる頻度としては、「3ヶ月に1回程度」「2ヶ月に1回程度」が6割近くを占める
- 通院に要する時間として、往復30分以内と回答した者が7割ほどを占めた

[Q2で「１ヶ月に１回の通院であれば、問題なく病院/クリニックに定期通院が継続できると思う」のみ選択した人には非表示]
Q4. 無理なく定期的に通院できる頻度として、あてはまるものをお選びください。（単一選択）

Q6. 通院に要する往復時間として、最も当てはまるものをお選びください。現在通院している方はその医療機関について、そうでない方は、過去定期通院していた際のことをお答えください。（単一選択）

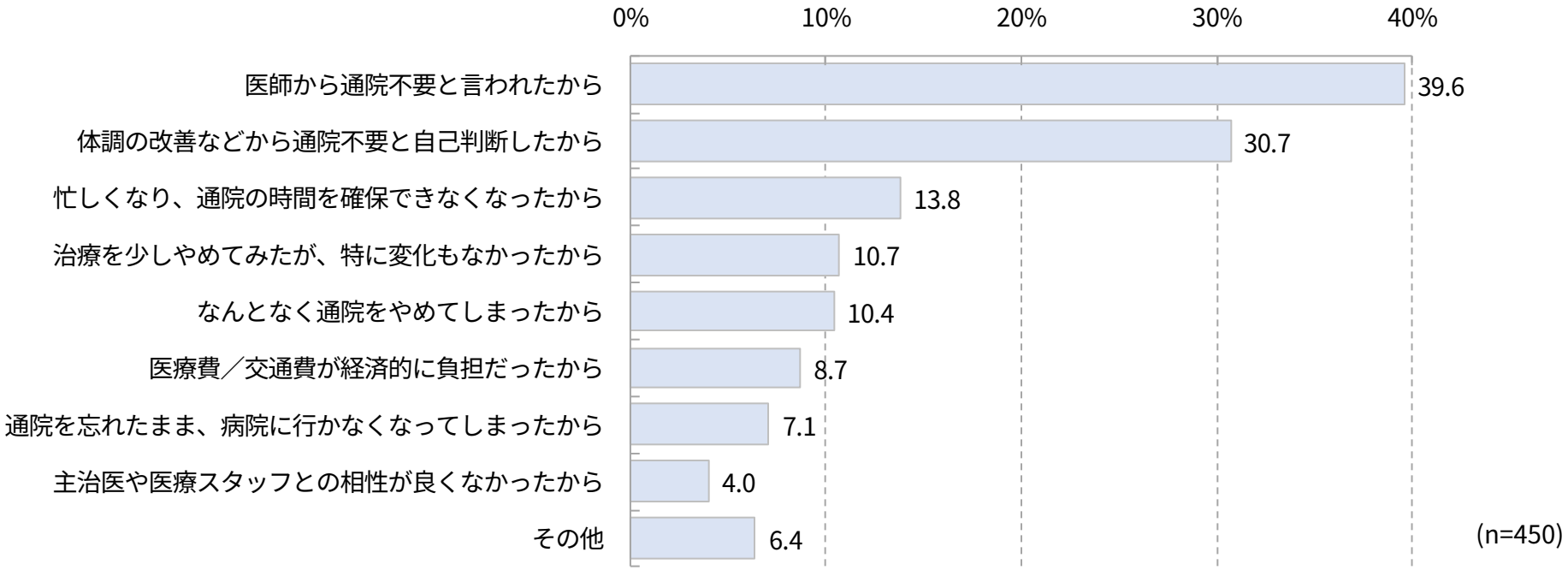




通院中止理由

・直近1年以内に通院を中止した人は全回答者の3割ほどであった。
「忙しくなり、通院の時間を確保できなくなったから」「なんとなく通院をやめてしまったから」「通院を忘れたまま、病院に行かなくなってしまったから」といった、オンライン診療の活用により通院中止に介入可能性がありそうな理由を挙げた者が3割ほどいた。
・「その他」の自由回答としては、クリニックを変えた、体調が改善しなかった、といった理由があがっていた。

[スクリーニング質問で、1年以内に通院を中止した疾患があった回答者のみに表示]
Q5. 1年以内に医療機関を受診し、治療をしていた疾患について、通院を中止した理由として当てはまるものを全てお選びください。（複数選択可）

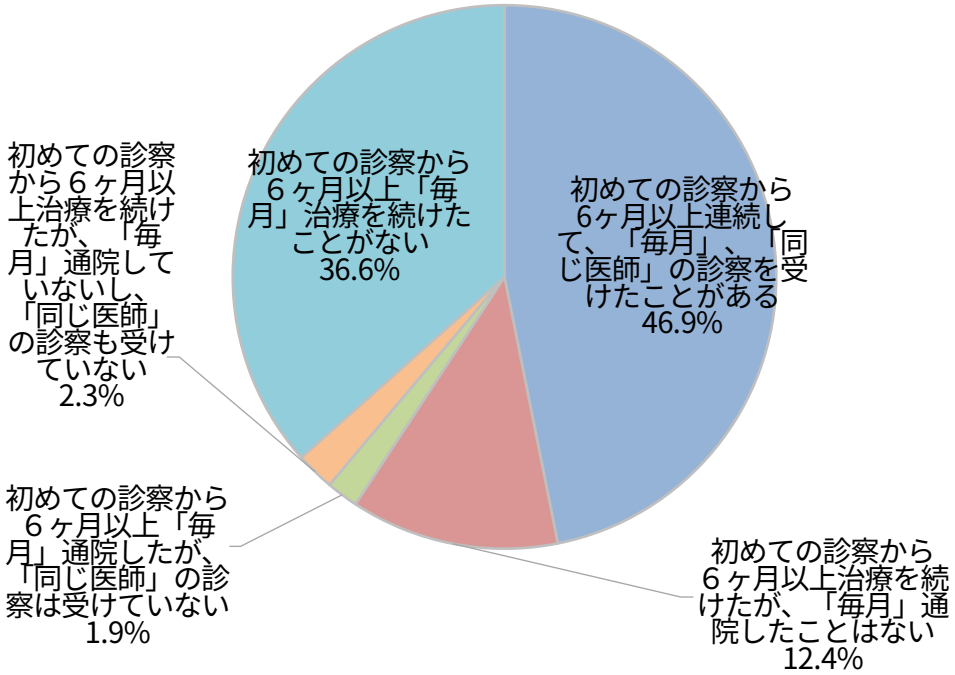


同一医師の診察状況

現状のオンライン診療料の算定要件のうち、「６月の間は毎月同一の医師により対面診療を行っている」ないし「直近12月以内に６回以上、同一医師と対面診療」を受けているとする要件を満たす患者は、定期通院を経験したことのある患者全体のうち、3割から4割程度にとどまっていることが示唆されている。

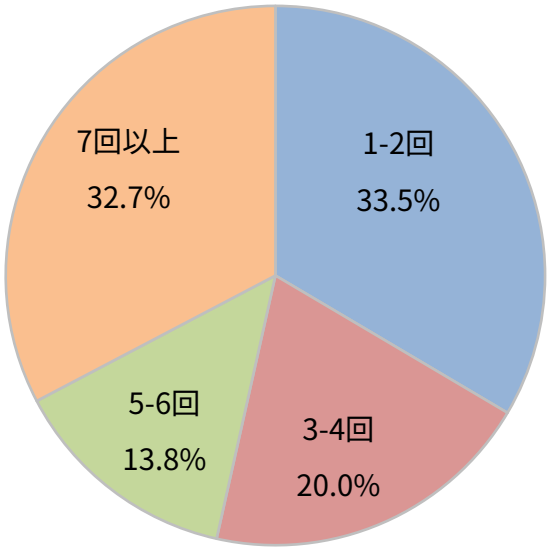
Q7. あなたの経験として、最も当てはまるものをお選びください。現在通院している方はその医療機関の主治医について、そうでない方は、過去定期通院していた際のことをお答えください。（単一選択）

(n=1545)



Q8. 1年の間に同じ医師の診察を受けた回数について、最も当てはまるものをお選びください。現在通院している方はその医療機関の主治医について、そうでない方は、過去定期通院していた際のことをお答えください。（単一選択）

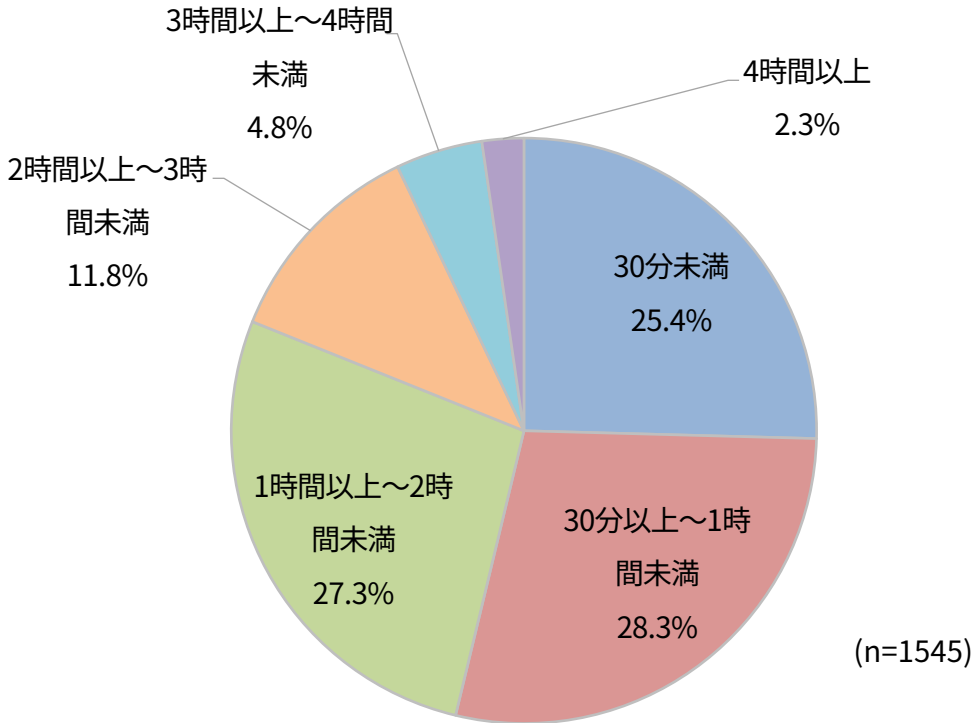
(n=1545)



診療全体に要する時間

診療全体に要する時間としては、1時間未満が半数以上を占めており、そこまで時間的な負担が大きい状況とは言えない。それでも、月1回の通院時間を確保するのが難しい層がQ4の結果のように一定いる状況である。また、実際の医師の診察時間については、「5分」「10分」「3分」が上位を占め、合計7割近くを占める。

Q9. 医療機関への通院、処方薬をもらうのに要した1回あたりの総合計時間として最も当てはまるものをお選びください。（通院時間、待ち時間、診療時間、会計待ち時間、薬局の待ち時間等全てを含む）現在通院している方はその医療機関について、そうでない方は、過去定期通院していた際のことをお答えください。（単一選択）



(n=1545)

Q10. 1回の通院で医師が診察する平均的な時間をお知らせください。（自由記述）

平均時間：14.1分

中央値：10分

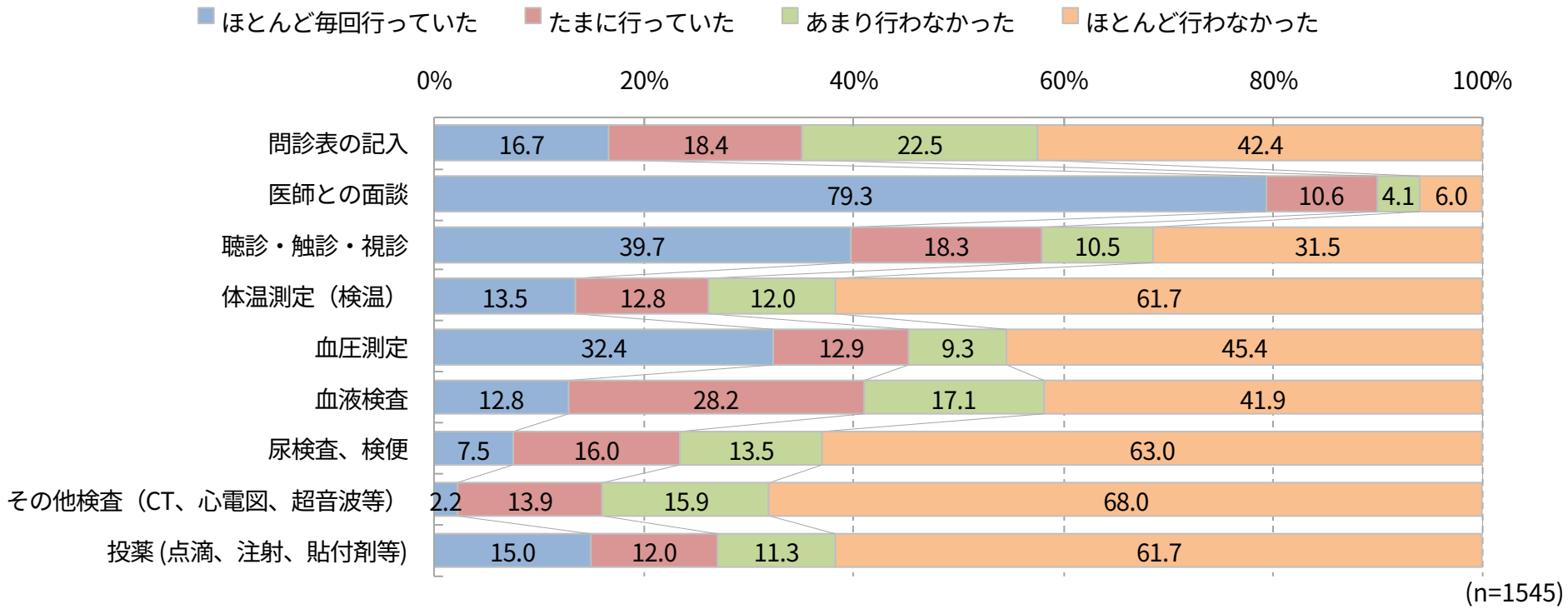
最頻値：5分（回答数520）

(n=1545)

診察内容

「通院時の診察行為・医療行為」で「ほとんど毎回行われている」ものに関する回答、トップは「医師との面談」（79.3%）、次いで聴診・触診・視診39.7%）、在宅においても一部実施が可能な体温測定（検温）、血圧測定、血液検査、尿検査などの項目はそれぞれ13.5%、32.4%、12.8%、7.5%にとどまっている。

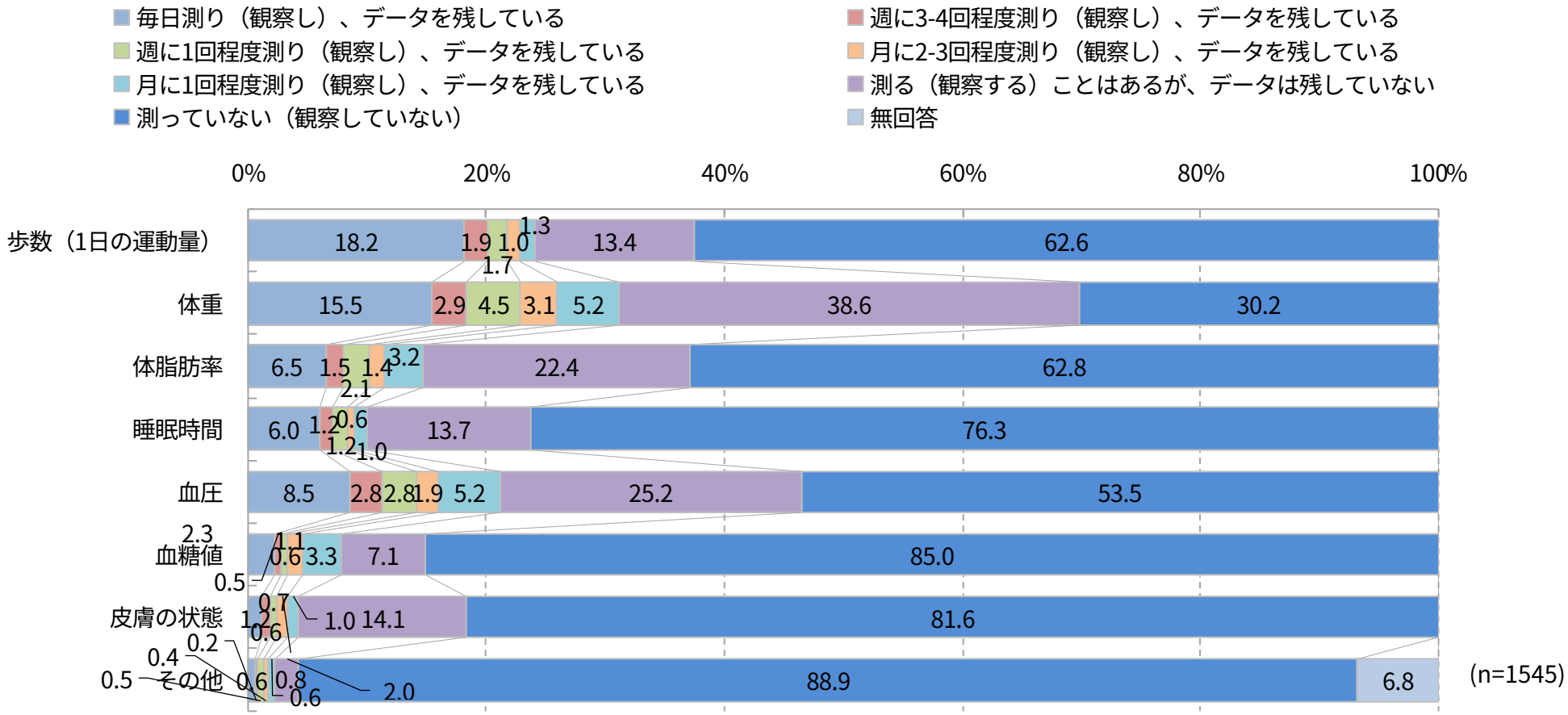
Q11. 通院時の診察行為・医療行為の頻度について、当てはまるものをお選びください。現在通院している方はその医療機関について、そうでない方は、過去定期通院していた際のことをお答えください。（単一選択）



ヘルスデータの測定

・ヘルスデータはそもそも測定している患者の割合自体が低い部分もあるが、測定していてもデータを蓄積していないケースが、歩数を除くと半数を占めている。
・「その他」としては、ピークフローや基礎体温、活動時間、脈拍との記載があった。

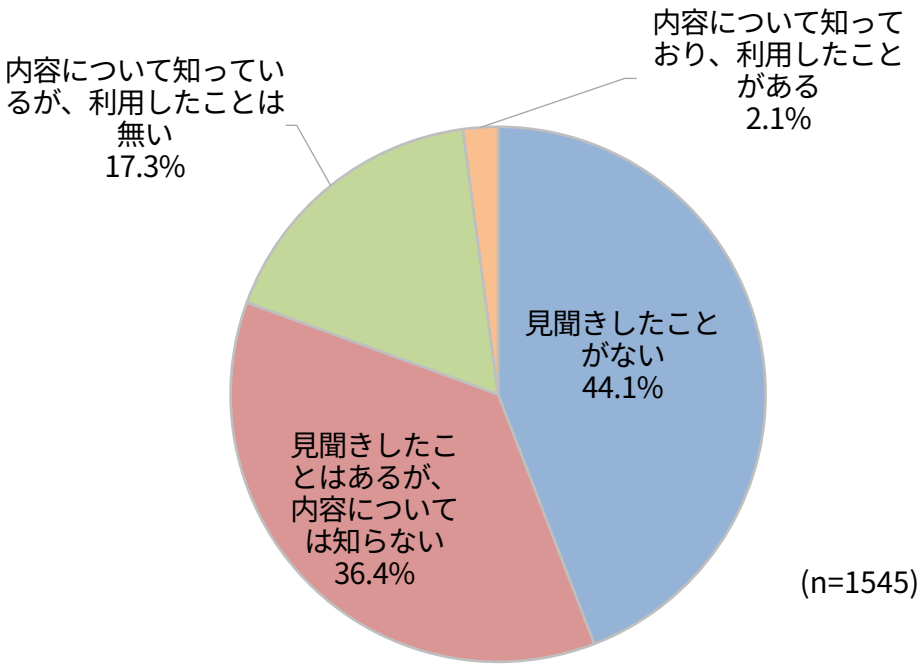
Q12. あなたが普段測定している値・データとして、当てはまるものをお選びください。（単一選択）



オンライン診療の認知度、利用意向

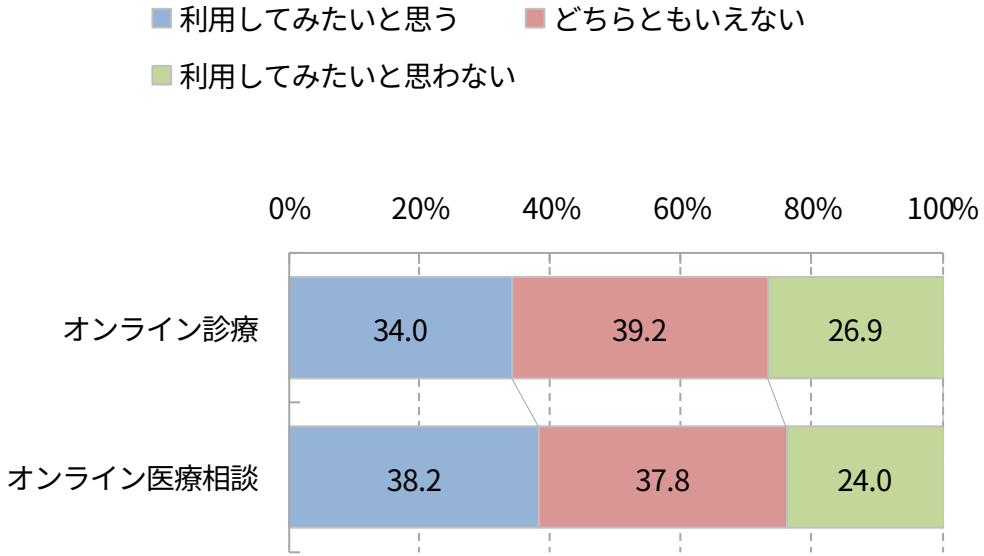
「オンライン診療／医療相談」を利用できると仮定した場合、利用に否定的な患者は4人に1人（26.9%）にとどまる。

Q13.「オンライン診療」について次のうち、あてはまるものをお選びください.。（単一選択）



(n=1545)

Q14. 主に治療をしている(していた)疾患、もしくは最も解決すべき課題だと考える疾患について「オンライン診療」「オンライン医療相談」を利用できる場合、あてはまるものをお選びください。（単一選択）

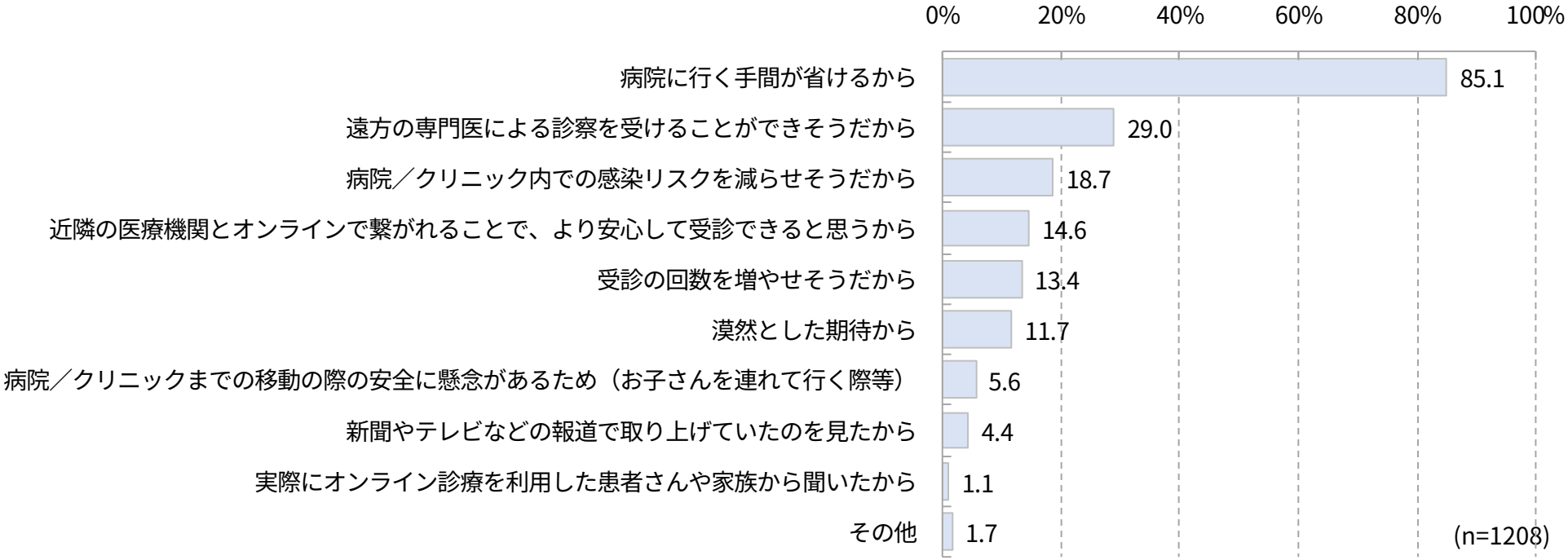


(n=1545)

オンライン診療への期待

・「オンライン診療／医療相談」を利用してみたいと思う理由では、およそ3割（29.0%）が「遠方の専門医による診察を受けることができそう」、約2割（18.7%）が「病院／クリニック内での感染リスクを減らせそう」といった疾患治療・公衆衛生上の理由を挙げており、利便性以外の部分で患者の期待を集めていることが示唆される。
・「その他」の自由回答で最も多かったのは、待ち時間が減るという理由であった。

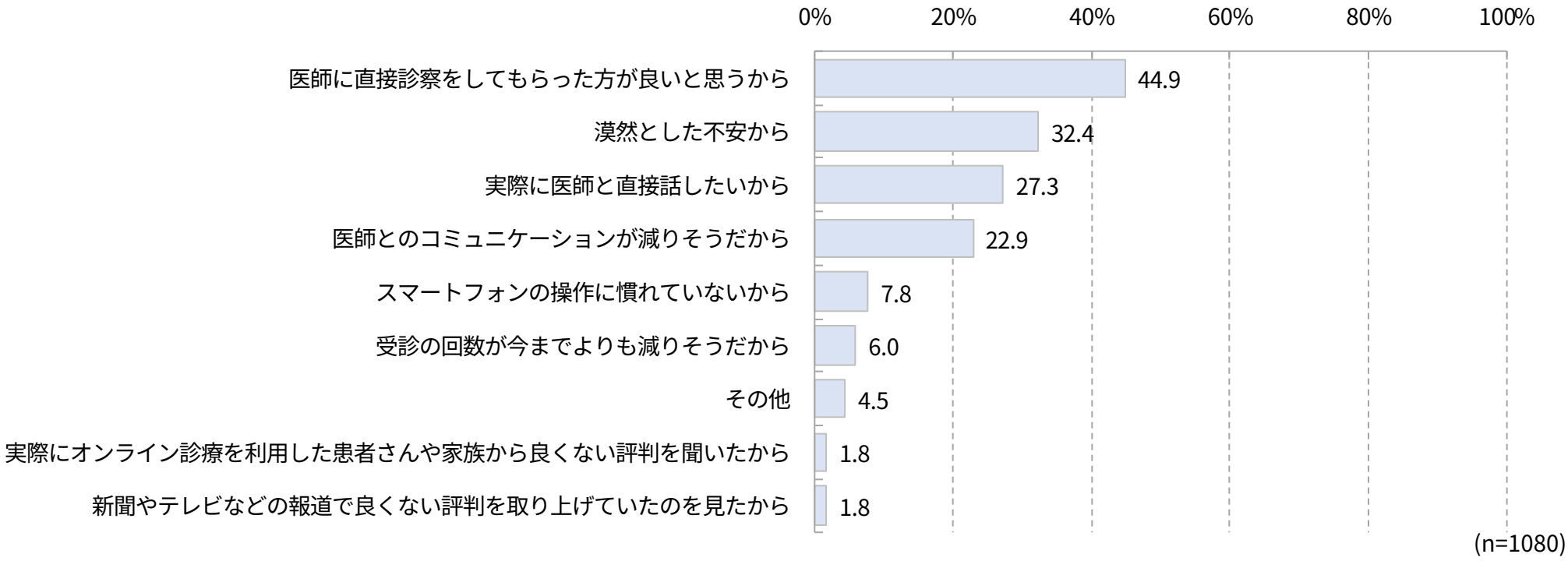
[Q14でオンライン診療について「利用してみたい」あるいは「どちらとも言えない」を選んだ回答者のみに表示]
Q15.「オンライン診療」もしくは「オンライン医療相談」を利用してみたいと思う理由（あるいは期待できそうなこと）について、当てはまるものをお選びください。（複数選択可）



オンライン診療への不安

・「オンライン診療／医療相談」の利用に否定的な回答者が挙げる理由として、トップの「医師に直接診察をしてもらった方が良いと思う」（44.9%）に次いで「漠然とした不安」（32.4%）という回答が多く寄せられていることから、この不安を払拭する情報提供／啓発的取組が期待される。
・「その他」の自由回答では、特にない、検査が受けられない、スマホを持っていないといった理由が挙がった。

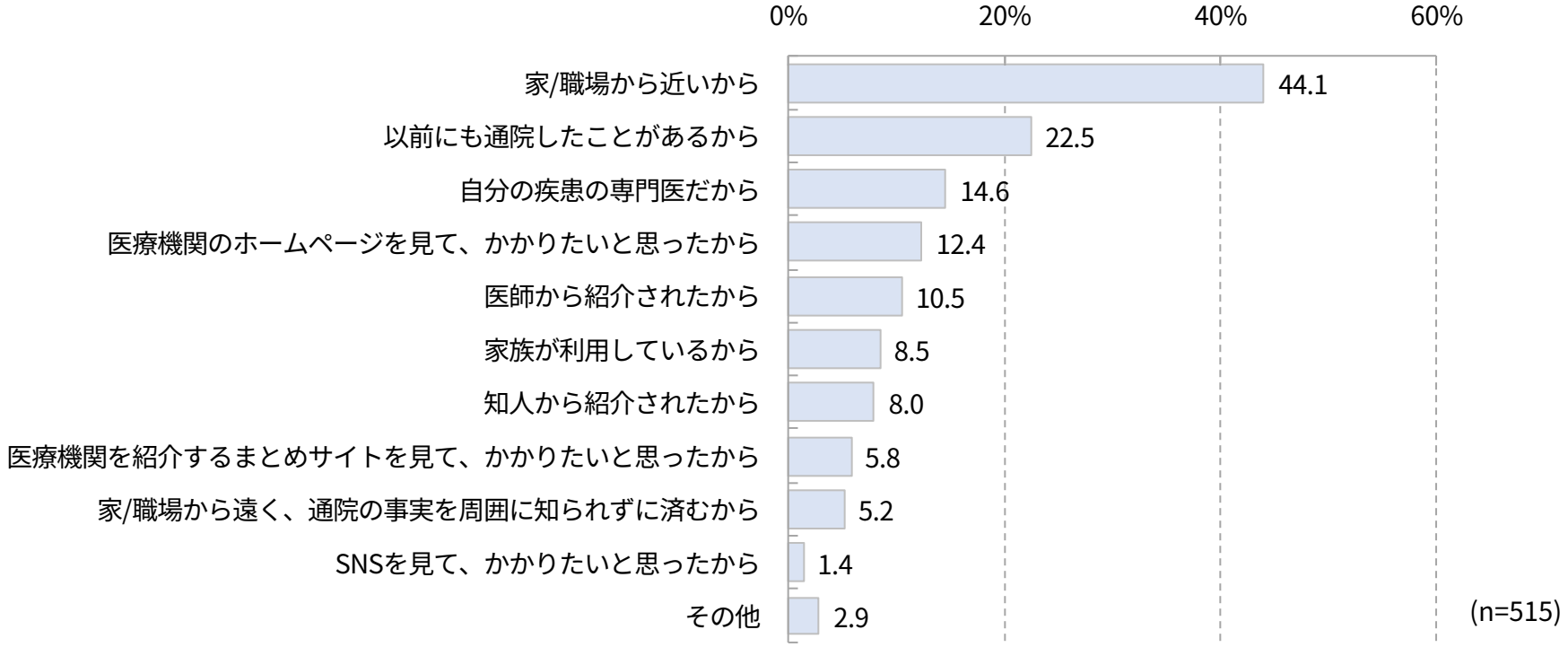
[Q14でオンライン診療について「利用したくない」あるいは「どちらとも言えない」を選んだ回答者のみに表示]
Q16.「オンライン診療」もしくは「オンライン医療相談」を利用してみたいと思わない理由（あるいは不安なこと）について、当てはまるものをお選びください。（複数選択可）



医療機関の選択理由
（現在生活習慣病/精神疾患/皮膚科疾患を罹患し通院している人のみ）

・「医師の紹介」、「疾患の専門医であること」といった理由で医療機関を選択している患者が、定期通院を経験したことのある患者全体の2割程度を占めている。
・「その他」の自由回答では、過去に他の疾患で受診していたから、引越し前は家が近かったから、といった理由が挙がっていた

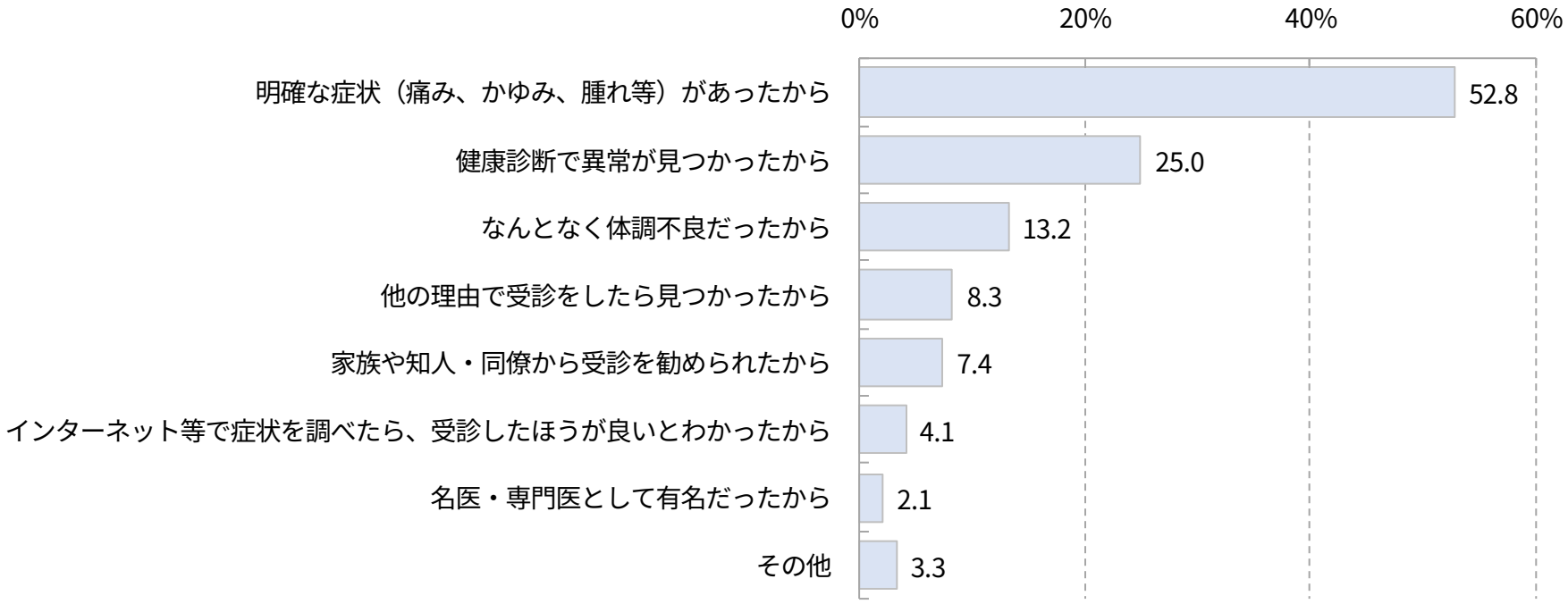
Q17.主に治療をしている(していた)疾患について、通院している医療機関を選んだ理由として、当てはまるものをお選びください。（複数選択可）



医療機関の選択理由
（現在生活習慣病/精神疾患/皮膚科疾患を罹患し通院している人のみ）

・受診のきっかけは明確な症状、体調不良を抱えての受診が多いが、健診をきっかけに受診した人も25%ほどいる
・「その他」の自由回答では、倒れた、緊急入院した、入院先から紹介された、といった理由が挙がっていた

Q18.「主に治療をしている(していた)疾患について、医療機関を受診するきっかけとして、当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

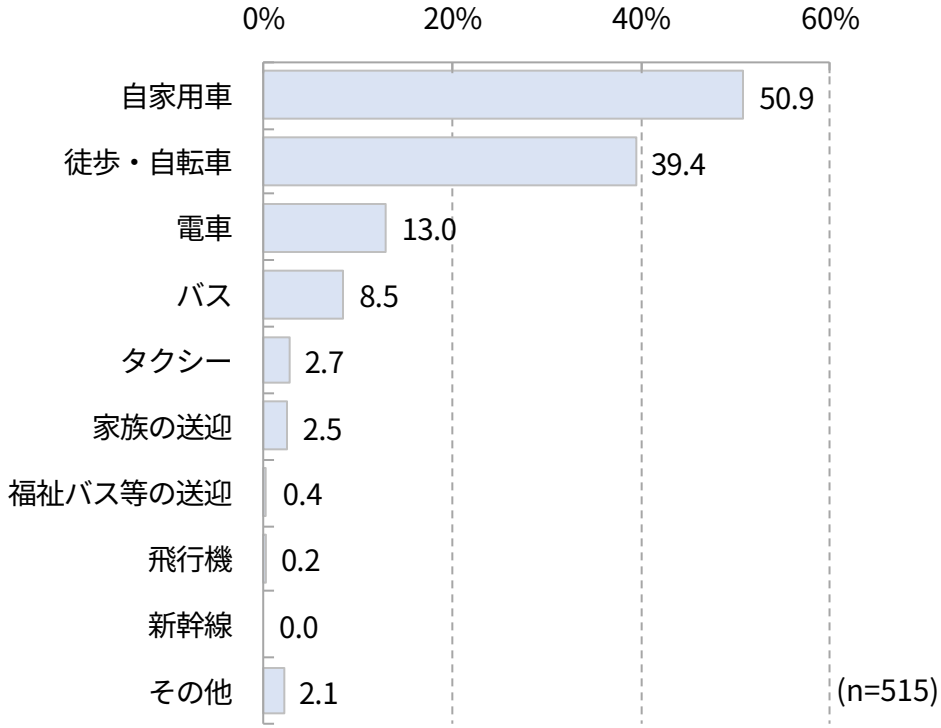


(n=515)

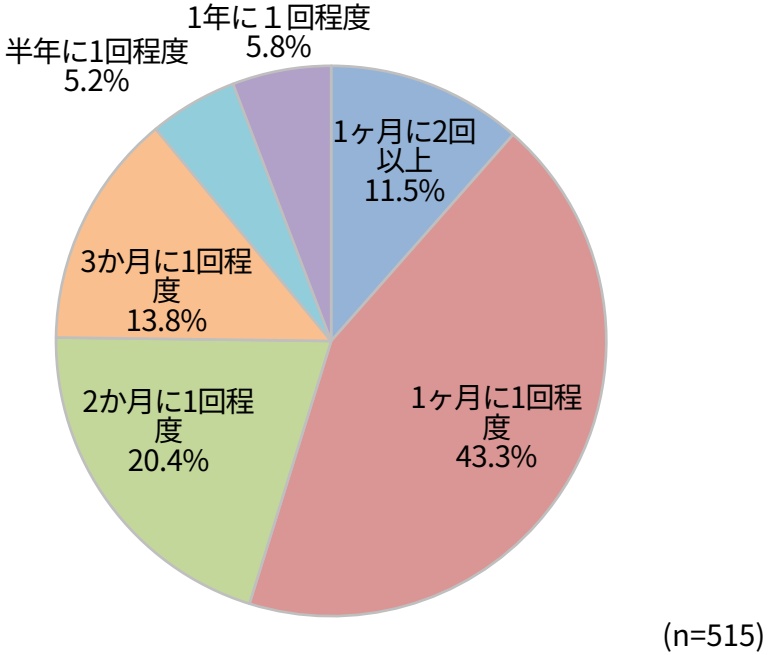
通院方法と通院頻度
（現在生活習慣病/精神疾患/皮膚科疾患を罹患し通院している人のみ）

・自家用車で通院している人が半数であり、徒歩圏内にある医療機関に通院している人よりも多い結果となった
・現在疾患に罹患し通院している患者について、月に1回通院する人が43.3%と最多であった。月2回以上通院している人は1割ほどにとどまり、就労世代では少数であることが示された。
・「その他」の自由回答には、バイク、原付といった回答が挙がっていた。

Q19.主に治療をしている(していた)疾患について、主に通院している医療機関への交通手段として、利用しているものをお選びください。（複数選択可）



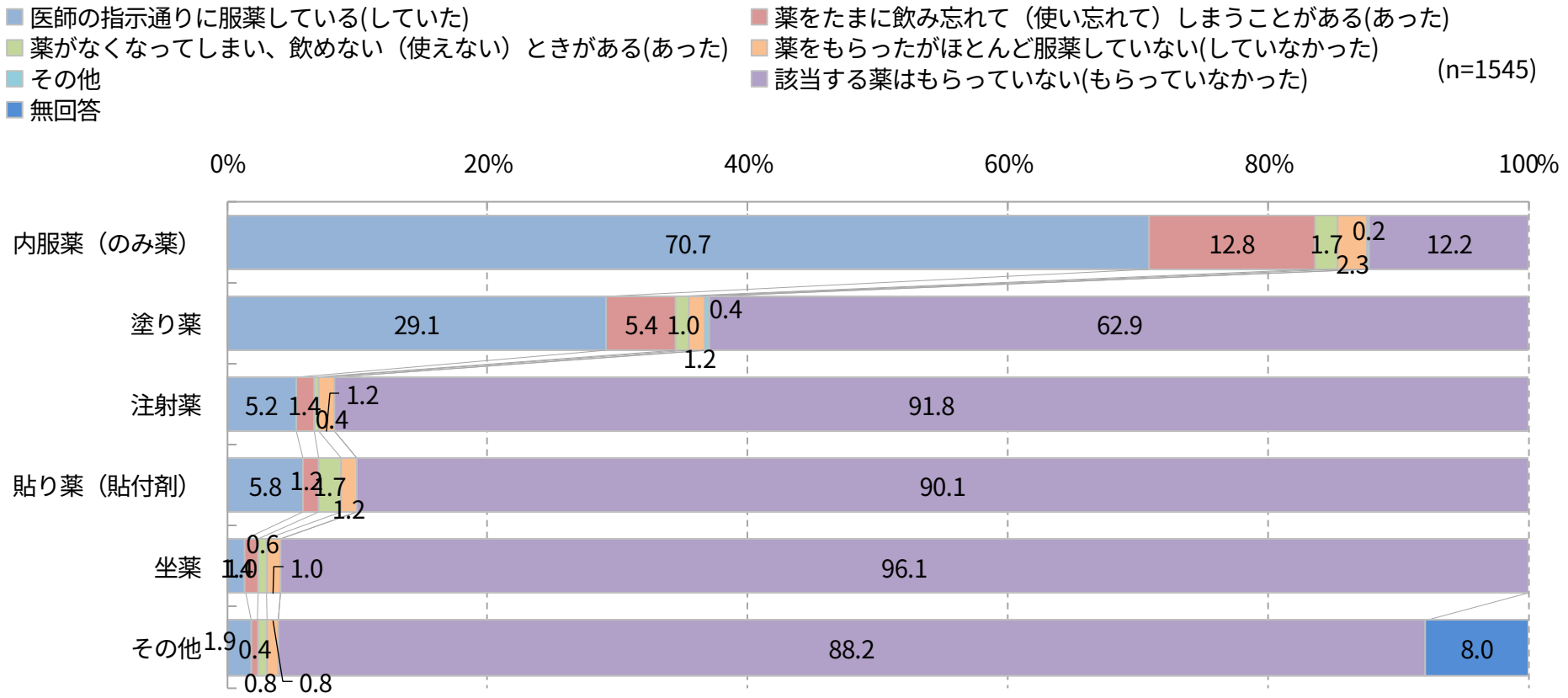
Q20. 主に治療をしている(していた)疾患とについて、主に通院している医療機関の頻度として、当てはまるものをお選びください。（単一選択）



服薬コンプライアンス

・内服薬・塗り薬の処方を受けている患者は今回の調査対象にも多くいたが、医師の指示通りに服薬していると回答した人がいずれの剤形においても9割近くを占める。
・「その他」の自由回答は、特に記入がなかった

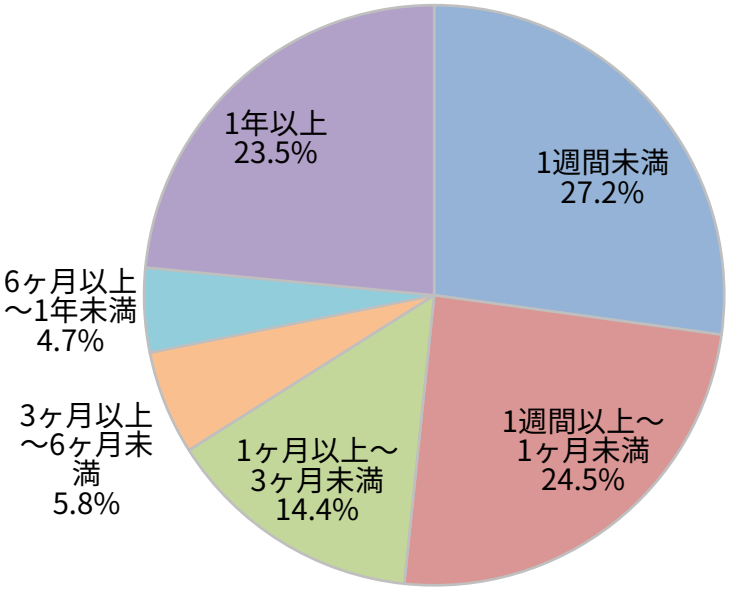
Q21.主に治療をしている(していた)疾患について、処方されている(処方されていた)薬について、当てはまるものをお選びください。（単一選択）



初回受診までに要した期間とその理由
（現在生活習慣病/精神疾患/皮膚科疾患を罹患し通院している人のみ）

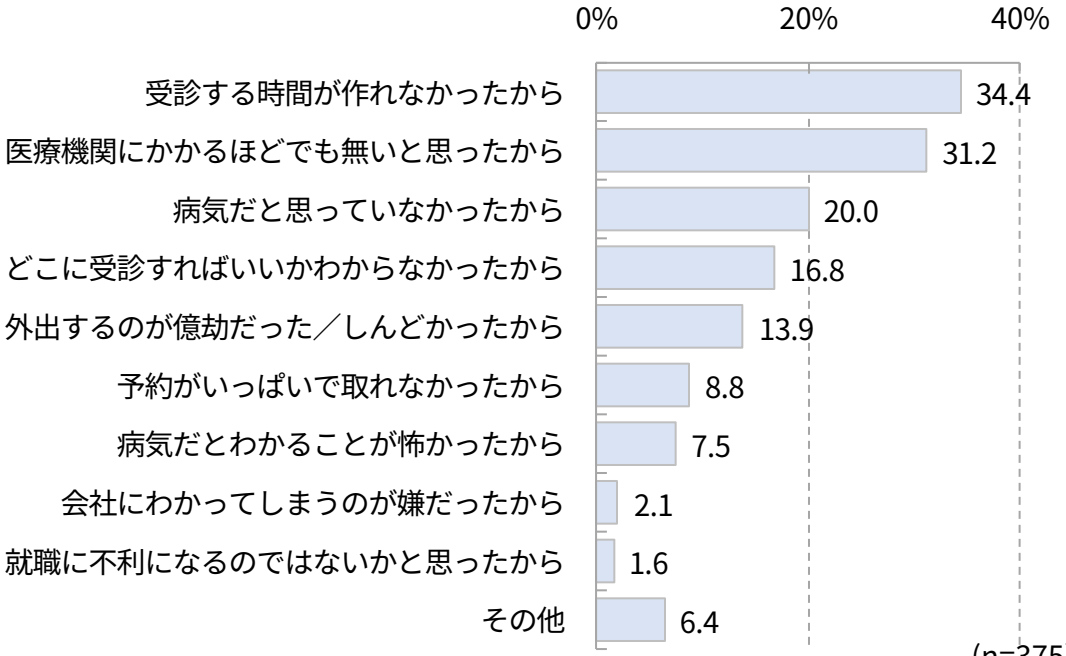
・体調に違和感等を感じてから医療機関に最初に受診するまでに、1週間以上要した人が72.8%であった。「受診する時間が作れなかった」(34.4%)、「外出するのが億劫だったから / しんどかった」(13.9%)、「予約がいっぱいでとれなかった」(8.8%)といった、早く通院したかったができなかった方もいた。
・「その他」の自由回答は自覚症状がなかったから、治ると思ったから、といった理由が挙がった。

Q22.主に治療をしている(していた)疾患について、体調が悪い、何かおかしい、と感じてから、医療機関に最初に受診するまでに要した時間について、当てはまるものをお選びください。（単一選択）



(n=515)

Q23. 主に治療をしている(していた)疾患とについて、体調が悪い、何かおかしい、と感じてから医療機関を1週間以上受診しなかった理由について、当てはまるものをお選びください。（複数選択可）

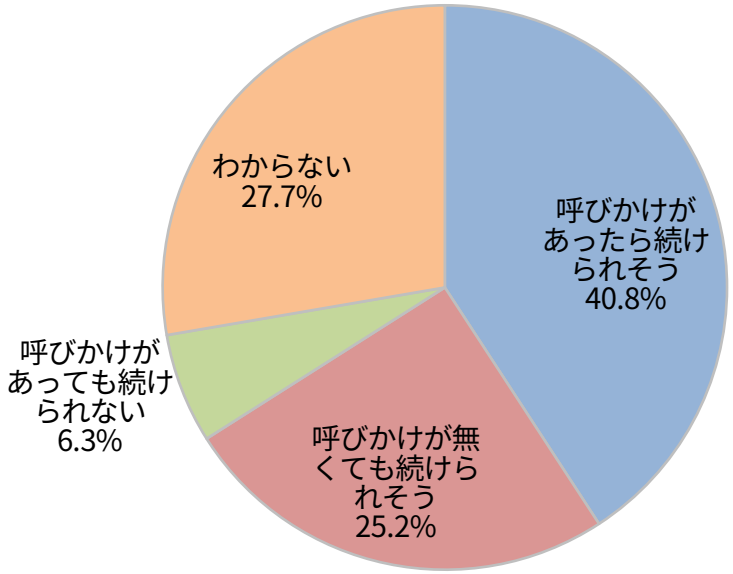


(n=375)

皮膚科疾患の治療継続について（現在皮膚科疾患を罹患し通院している人のみ）

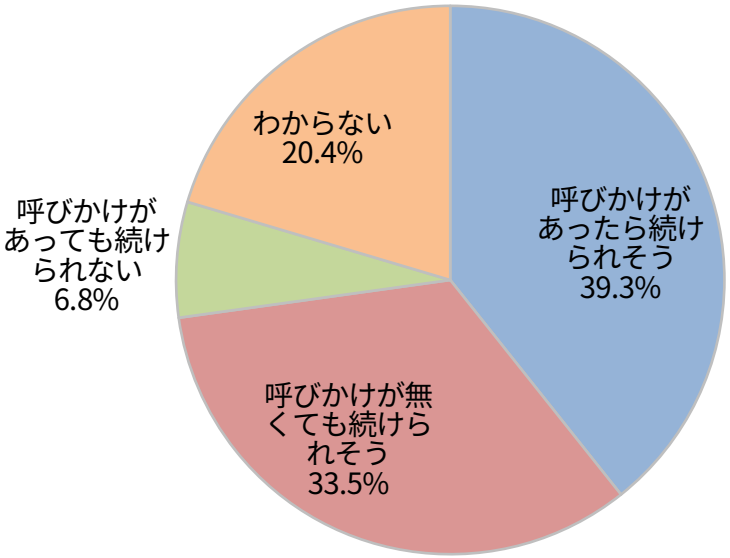
「オンラインで定期的に医師／医療従事者から呼びかけがあった場合、お薬の服用が続けられるかどうか」との問いに、およそ4割（39.3%）が「呼びかけがあったら続けられそう」である、と回答している。

Q24.オンラインで定期的に医師 / 医療従事者から呼びかけ（メッセージ等）があった場合、通院して**治療を継続**できるかどうか、当てはまるものをお選びください。（単一選択）



(n=206)

Q25.オンラインで定期的に医師 / 医療従事者から呼びかけ（メッセージ等）があった場合、**お薬の服薬**が続けられるかどうか、当てはまるものをお選びください。（単一選択）

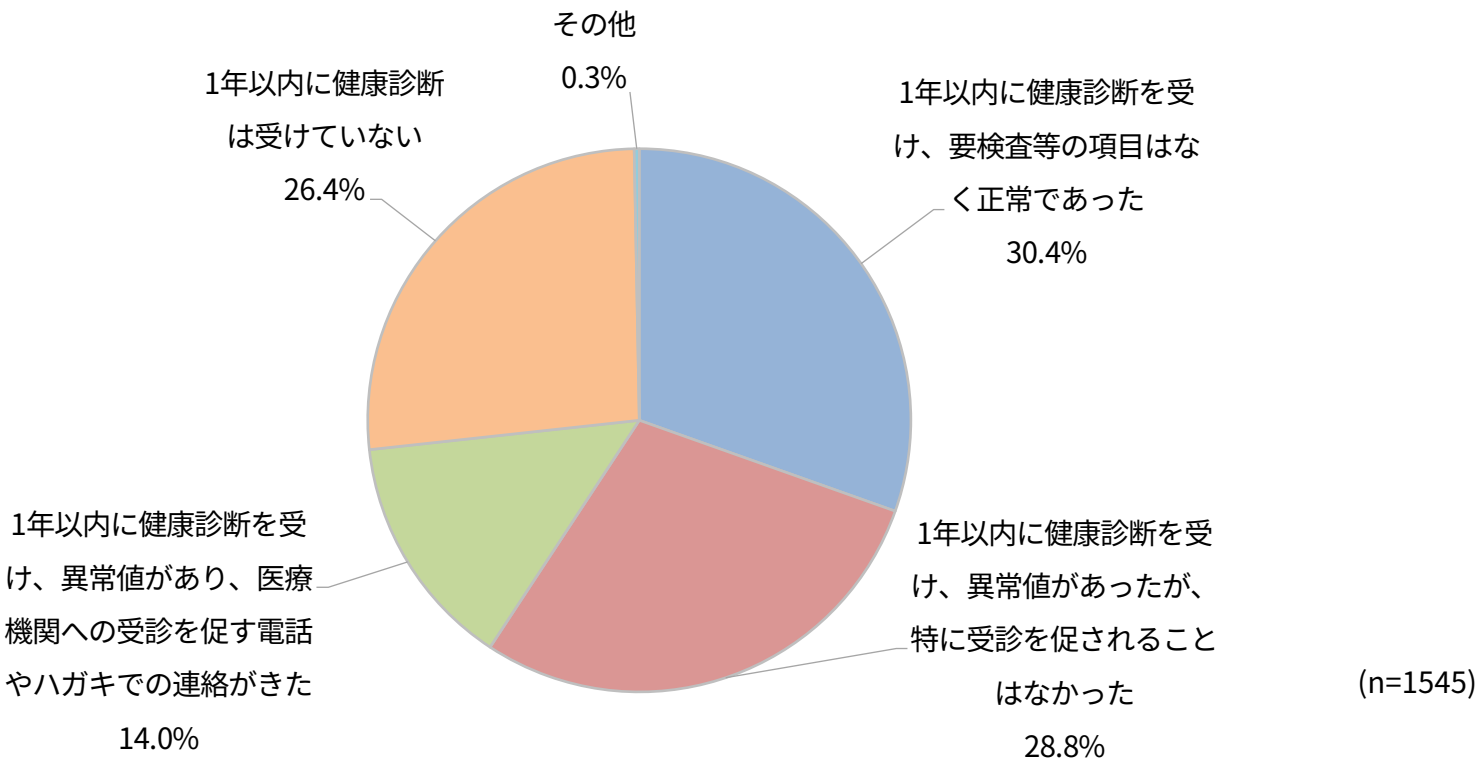


(n=206)

健康診断結果

・1年以内に健康診断を受診した人は73.6%であり、受診者の中で異常が全く見つからなかった割合は41.3%である。異常があり受診を促された人は健診受診者の2割ほどである。
・「その他」の自由回答は結果がまだ届いていない、という回答が挙がっていた。

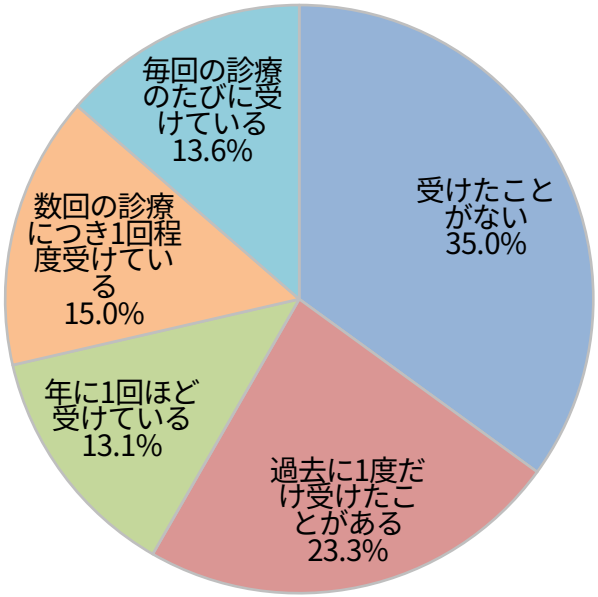
Q26.直近1年間の健康診断の受診状況について、最も当てはまるものをお選びください。（単一選択）



生活習慣の改善について（現在生活習慣病を罹患し通院している人のみ）

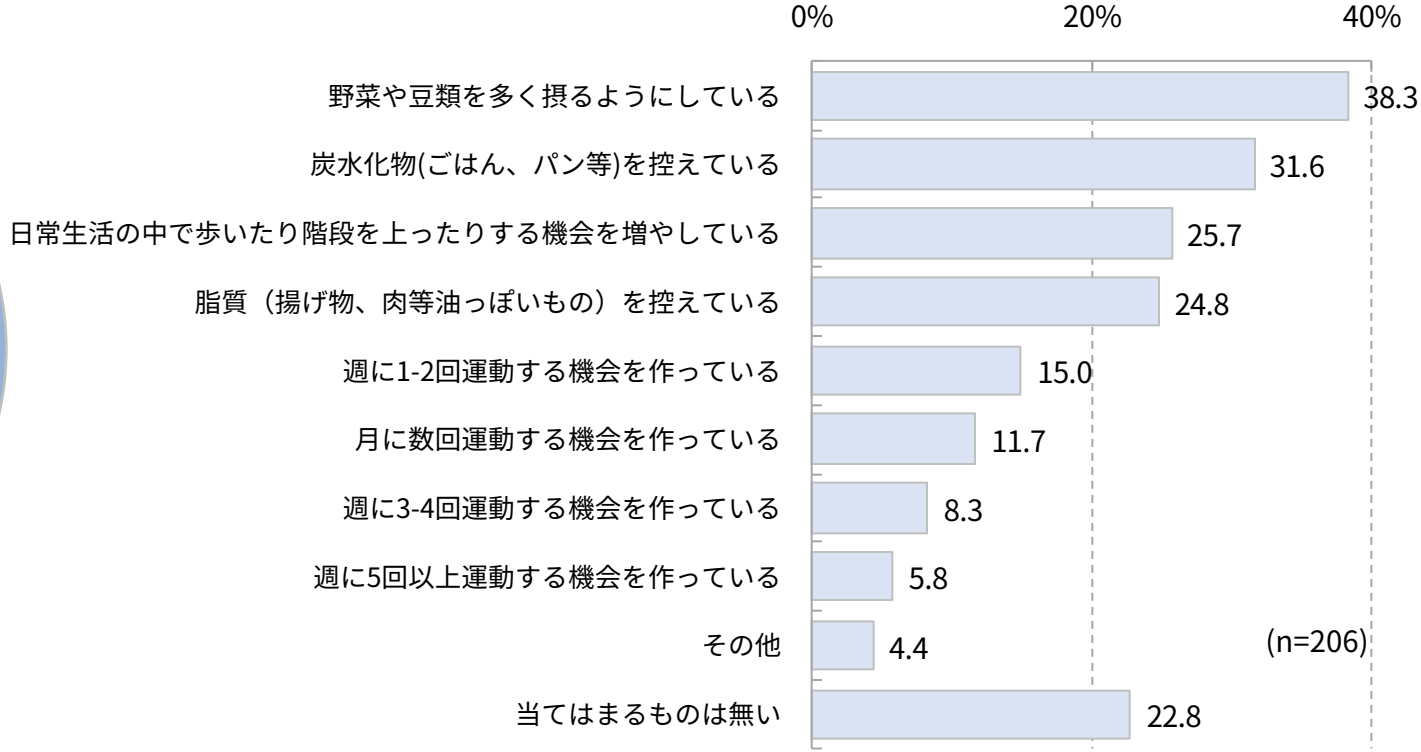
・生活習慣病（高血圧、脂質異常症、高尿酸血症、Ⅱ型糖尿病）で医療機関に通院している人のうち、生活習慣の改善に関わる指導を一度も受けたことが無い人が35%存在する。
他方、罹患後に食生活の改善や運動を実践している人が8割近くを占めている。
・「その他」の自由回答には、塩分を控えている、無脂肪乳にしている、といった回答が挙がっていた。

Q27.医師またはその他の医療従事者から生活習慣指導（食事・運動など生活習慣に関するアドバイス）を受けた経験について当てはまるものをお選びください。（単一選択）



(n=206)

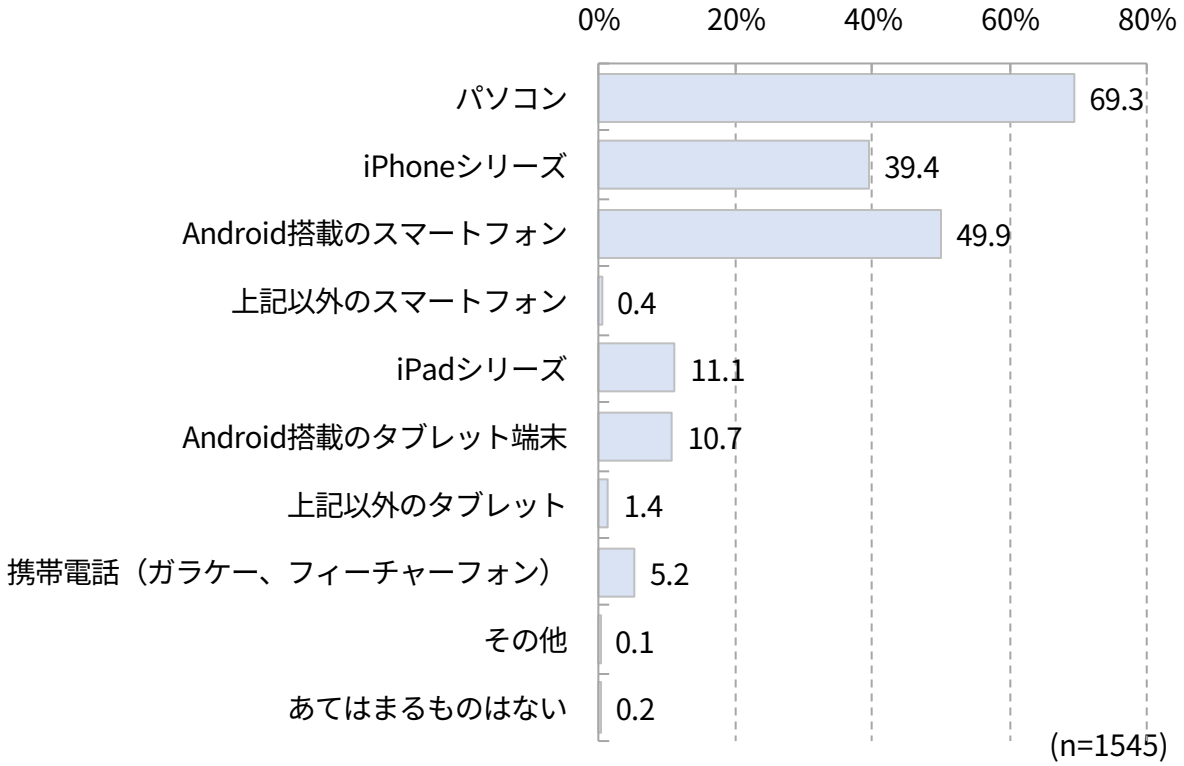
Q28. 病気と診断されてから、生活習慣改善として実践しているものについて、当てはまるものをお選びください。（複数選択可）



通信端末、勤務時間

- 利用端末については、パソコンとスマートフォンの比率が高い。
- 「その他」の自由回答では、PlayStation4との回答があった。

Q29.インターネットに接続できる機器（パソコン・タブレット・スマホ等）で普段使うものを選んでください。
※あなたご自身が所有していて、プライベートで使用するものに限定してお答えください。（複数選択）



Q30.月間の平均的な勤務時間をお知らせください。（自由記述）
※１年間の中で勤務時間に波が大きい方は、平均値を記入してください

平均時間：170時間/月

中央値：160時間/月

最頻値：160時間（回答数159）
* 200時間/月：120人、180時間/月：91人と続く

(n=877)

- 月勤務時間を50時間未満で回答した人を除き集計